

2016年度(平成28年度)

# 事業報告書



公益財団法人キープ協会

# 目次

|   |    |
|---|----|
| 2016年度 事業計画の方針・重点事業                             | 3  |
| <hr/>   |    |
| 公益Ⅰ. 環境教育事業                                     | 4  |
| 1. 環境教育   |    |
| 2. 「～八ヶ岳環境と文化のむら～山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター」<br>指定管理業務   |    |
| 3. 環境省日光国立公園「那須平成の森」および<br>「那須高原ビジターセンター」運営管理業務 |    |
| 4. 山梨県地球温暖化防止活動推進センターの指定受託                      |    |
| 5. 環境研究所  |    |
| 6. 地域における環境教育事業                                 |    |
| 公益Ⅱ. 酪農事業                                       | 9  |
| 1. 生産農場として                                      |    |
| 2. 教育農場として                                      |    |
| 3. 実験農場として                                      |    |
| 公益Ⅲ. 研修交流事業                                     | 11 |
| 1. 清泉寮  |    |
| 2. 自然学校   |    |
| 3. ポール・ラッシュ記念館                                  |    |
| 公益Ⅳ.  |    |
| ①国際交流事業   | 14 |
| 1. 国際交流事業                                       |    |
| ②地域連携事業   |    |
| 1. ポール・ラッシュ祭～八ヶ岳カンティフェア～2016の開催                 |    |
| 2. 地域連携業務                                       |    |
| 公益Ⅴ. 保育事業                                       | 16 |
| 1. 「異年齢児保育」と「森の保育」の継続                           |    |
| 2. 自然のリズムを大切にした食事(給食)の推進                        |    |
| 3. 保育の質の向上                                      |    |
| 4. 園舎内及び周辺環境整備                                  |    |
| 5. 保護者や地域の方々との協働                                |    |
| 6. 卒園児のバックアップ                                   |    |
| 7. 自然学校及び環境教育事業部との協働                            |    |
| 8. 視察・研修の受け入れ                                   |    |

---

|               |    |
|---------------|----|
| 収益Ⅰ．製販事業      | 17 |
| 1. 2016年度重点業務 |    |
| 2. 通常業務       |    |
| 収益Ⅱ．ホテル事業     | 19 |
| 1. 清泉寮        |    |

---

|             |    |
|-------------|----|
| 本部（管理部門）    | 20 |
| 1. 企画関連業務   |    |
| 2. 広報関連業務   |    |
| 3. 職員教育訓練業務 |    |
| 4. 募金の管理業務  |    |

## 2016 年度 事業計画の方針・重点事業

2016 年度の公益財団法人キープ協会は、KEEP for the Future(キープ中長期計画)に基づき公益事業等を展開しました。

1. **教育機能の強化＝「子どもを大切にするキープ協会」**  
各部よりアイデア・情報を集約し、ホームページに特設ページを新設
2. **MBF の実現＝「景観整備計画に基づいた景観保全」**  
案内看板類の策定と景観整備の実施
3. **環境保全型運営＝「歩いて楽しむキープ協会」**  
モデルコース作りとして、「清泉寮おすすめ散歩道」設定

### 【重点項目】

1. **財政健全化(継続 2 年目)**  
償却後全体収支(最終損益)は、計画▲47 百万円に対して実績▲37 百万円となり、予算比で 10 百万円超過達成し財政改善が図られました。
2. **キープ協会内ファンドレイジング組織の立上げと活動スタート**  
コンサルタントを導入し現状の分析や方向性の検討を行いました。
3. **清泉寮本館等改修工事**  
耐震化、防災強化に加えて客室および施設の整備を行いました。
4. **清泉寮・新ジャージーハット建築計画の推進**  
立ち寄りのお客様の受入キャパシティと利便性を向上させた施設として検討を重ねました。2017 年度 10 月より着工予定です。

## 公益 I. 環境教育事業

子どもからシニア世代までを対象とした「教育」とヤマネの総合的な「研究」を両輪として、また市民・学校・企業・行政など多様な主体との協働を通して、多様な環境教育事業を展開しました。

### 1. 環境教育

#### (1) キープ・フォレスターズ・スクール

##### ① キープ・フォレスターズ・スクールの役割

総合的な環境教育の推進、環境教育プログラムの提供および研究・開発、環境教育ネットワークの支援、「インタープリター」の役割の普及

##### ② 2016 年度の重点目標

- a. 受託事業の拡大
- b. 主催事業の強化

##### ③ 主催事業

「実験」「協働」「プログラム開発」という位置づけの下、以下のプログラムを実施しました(表 1 参照)。

表 1 : 2016 年主催事業の実績

|               | 2016 年度 |      | 2015 年度 |      |
|---------------|---------|------|---------|------|
|               | 回数      | 参加者数 | 回数      | 参加者数 |
| 宿泊型環境教育プログラム  | 15      | 393  | 15      | 451  |
| 日帰り型環境教育プログラム | 21      | 227  | 11      | 217  |

##### ④ 受託事業

学校・企業・省庁・自治体などから受託事業を受入れました(表 2 参照)。

表 2 : 2016 年度受託事業の実績

| 区分        | 対象     | 主な利用団体   |
|-----------|--------|--|
| 清里でのプログラム | 学校関係   | 立教学院、立教女学院、聖心女子学院、東京都市大学、山梨学院短期大学、青稜中学校・高等学校、山梨県内外小中学校 |
|           | 行政関係   | 林野庁、山梨県、北杜市、国際協力機構                                     |
|           | 一般     | 日本環境教育フォーラム、NEC、生長の家、日中市民ネットワーク                        |
| 出張プログラム   | 行政関係   | 環境省、林野庁、群馬県、山梨県、北杜市、青少年教育振興機構、青年海外協力協会                 |
|           | 一般     | 中部電力、サントリーグループ、電源開発、朝日新聞、生長の家                          |
| 合計        | 248 事業 |  |

## ⑤指導教育

職員のスキルアップのための研修を行いました。また、事業部として2名の実習生を迎えました。JICA より日系ブラジル人研修生、大学より3名のインターン生を受け入れました。

## (2) キープやまねミュージアム

### ① キープやまねミュージアムの役割

ヤマネの総合的な研究のさらなる推進、ヤマネ保護と森林生物多様性保全の提案、研究成果を活かした環境教育・環境保全策の普及

### ② 2016年度の重点目標

ヤマネ研究成果の総括(論文等)と森林環境保全への活用及び効果的な展示

### ③ 2016年度の事業実績

- a. ヤマネの基礎研究と学会での研究成果報告(国内外 計2報)
- b. 県内外における環境影響評価に関する調査業務 請負
- c. ヤマネ保護と環境保全の提案に向けた研究の推進
  - (a) 山梨県希少動物(小型哺乳類)生息調査(RDB調査)
- d. 研究成果を活かした環境教育プログラムの研究開発と実践、メディアを通じた教育の実施(NHK Eテレ「なりきり!む〜にゃんいきもの学園」への協力等)
- e. 「やまねミュージアム」の管理運営・ヤマネに関する環境教育の実施
  - (a) 展示内容の更新
  - (b) 学校団体向け出張ツールの作成
- f. 樹上性動物保護の具体策「アニマルパスウェイ(AP)」の普及(一般社団法人APと野生生物の会 構成員としての活動)
  - (a) IENE (Infra Eco Network Europe)2016にてポスター発表、アワード受賞
  - (b) 第2回「広げよう野生動物の歩道橋」シンポジウム実施・事例紹介

### ④ 開館日数、入館者等の実績(表3参照)

表3: 2016年度やまねミュージアム開館日数・入館者数等の実績

|          | 2016年度 | 2015年度 | 増減/昨年比           |
|----------|--------|--------|------------------|
| 年間開館日数   | 289    | 292    | ▲3(※時間限定 臨時開館含む) |
| 入館者数     | 20,154 | 19,339 | 815/104.2%       |
| 1日平均入館者数 | 69.7   | 66.2   | 3.5/105.2%       |
| 利用団体数    | 60     | 70     | ▲10/85.7%        |
| 団体利用者数   | 2,504  | 2,852  | ▲348/87.7%       |

## 2. 「～ハヶ岳環境と文化のむら～山梨県立ハヶ岳自然ふれあいセンター」(指定管理業務)

### (1) 山梨県立ハヶ岳自然ふれあいセンターの役割

自然環境に関する情報と学習の機会を提供することを通して、山梨県の良好な環境の保全と継承に貢献しました。

### (2) 2016 年度のテーマ＝協働

### (3) 2016 年度の事業実績

プログラムの開発と実践、施設内外での展示、年度テーマに即した事業の実施、自然資料収集のための調査、教材開発、地域の拠点施設としての活動、周辺の文化施設、地域にあるネットワークとの連携、自然ふれあい施設としてのハードの整備・施設維持管理、自主事業(環境教育関連書籍やグッズ販売、スノーシュー貸し出し)

### (4) 開館日数、入館者等の実績(表 4 参照)

表 4：2016 年度ハヶ岳自然ふれあいセンター開館日数・入館者数等の実績

|                         | 2016 年度   | 2015 年度    | 増減／昨年比       |
|-------------------------|-----------|------------|--------------|
| 年間開館日                   | 321       | 323        | ▲2／99.3%     |
| 入館者数                    | 106,492   | 107,997    | ▲1,505／98.6% |
| 開館(1994.11)以来の<br>総入館者数 | 2,008,684 | 1,902,192  | —            |
| 1 日平均入館者数               | 332       | 334        | ▲2／99.4%     |
| 利用団体数                   | 328       | 291        | 37／112.7%    |
| 団体利用者数                  | 16,653    | 15,433     | 1,220／107.9% |
| プログラム回数・参加者数            | 293／8,225 | 339／10,640 | ▲46／77.3%    |

※プログラムは 2016 年度、2015 年度において実施内容が異なる。

## 3. 環境省日光国立公園「那須平成の森」および「那須高原ビジターセンター」運営管理業務

### (1) 事業実績

#### ①全体

第 2 期(仮称)の 3 年目(最終年度)の業務実施、人材育成事業の実施、地域連携の強化、利用促進のための方策を立案し実施、提案書に明記した業務(自然教育プログラム、展示、広報・普及啓発、業務の質の維持向上)、国立公園満喫プロジェクト事業への協力および実施

#### ②那須平成の森

フィールドセンター運営、プログラム開発と実施、環境教育人材育成事業の実施、屋内外の展示制作、公園の環境管理、「那須平成の森基金」の事務局運営

#### ③那須高原ビジターセンター

ビジターセンター運営、那須甲子地域との連携事業

(2)開館日数、入館者等の実績(表5参照)

表5：2015年度那須平成の森・那須高原ビジターセンターの実績

|   | 2016年度      | 2015年度      | 増減           |
|---|-------------|-------------|--------------|
| <b>●那須平成の森</b>                                  |             |             |              |
| 年間開館日   | 347         | 347         | 0            |
| 入館者数  | 57,777      | 65,016      | ▲7,239       |
| (内、立寄り団体利用者数)                                   | 10,784      | 13,066      | ▲2,282       |
| (公募)個人利用者向け利用者負担プログラム参加者数(※)                    | 1,435(249回) | 1,767(272回) | ▲332(▲23)    |
| (※)＝ガイドウォーク、同特別編、自然体験・学習プログラム、植生管理(モニタリング)プログラム |             |             |              |
| 無料ミニプログラム参加者数                                   | 4,933(860回) | 6,186(966回) | ▲1,253(▲106) |
| (受託)団体利用者向け利用者負担プログラム参加者数                       | 1,616(54団体) | 1,688(61団体) | ▲72(▲7)      |
| <b>●那須高原ビジターセンター</b>                            |             |             |              |
| 年間開館日   | 348         | 348         | 0            |
| 入館者数  | 30,680      | 29,444      | 1,236        |
| (内、立寄り団体利用者数)                                   | 11,090      | 9,668       | 1,422        |

4. 山梨県地球温暖化防止活動推進センターの指定受託

地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき、山梨県地球温暖化防止活動推進センターの指定を受け、次の事業を行いました。

(1)地球温暖化の現状及び地球温暖化対策の重要性についての啓発及び広報活動

9 イベント 12 日間出展、出張展示 1 件、山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンターでの展示展開、パンフレット・広報ツール等の作成、子ども対象プログラム開催等

(2)地球温暖化防止活動推進員及び地球温暖化対策の推進を図るための活動を行う民間団体の活動支援

やまなし環境教育ミーティングの共催、研修会 2 回実施、関東ブロック合同研修会への参画、地域協議会交流会の開催、ホームページ・通信等での広報協力等

(3)日常生活に関する温室効果ガスの排出抑制のための措置についての照会、相談及び助言 76 件 推進員・行政関係者・県民等件対応

(4)日常生活に関する温室効果ガス排出実態についての調査、分析

山梨県環境家計簿及び全国センターアンケートへの協力

(5)定期的又は時宜に応じた上記調査分析結果の提供

問合せ時等随時の情報提供



## 5. 環境研究所

環境教育事業部の柱の1つとして、事業部横断的に活動を行いました。

### (1) 環境保全研究

主にやまねミュージアムが担いました(詳細は1.参照)。

### (2) 環境教育研究

環境教育プログラム集の編集を進め、学会などでの発表を行いました。

## 6. 地域における環境教育事業

### (1) 地域における環境教育事業

保育事業部・研修交流事業部と協働し、「森の学童」を実施しました。また、山梨県や北杜市と協働し、地域住民に対する環境教育を行い、各種ネットワークへ参画しました。具体的にはフォレストーズ・スクール事業にて、北杜市内全園での環境教育プログラム、市民対象の環境教育講座、市内小学校での授業協力、山梨県立自然ふれあいセンター及び山梨県地球温暖化防止活動推進センター事業として、県内各種イベントでの出展事業を行いました。

## 公益Ⅱ. 酪農事業

### 1. 生産農場として

#### (1) 牛乳生産(有機 JAS 認定)

年間平均 110 頭のジャージー乳牛の飼育管理を主とした酪農業務に専念しました。そのうち 45 頭の搾乳を行い、総生産量 157,424kg の牛乳を生産しました。その殆ど(150,424kg)は群馬県前橋市にあるタカハシ乳業に出荷され、低温殺菌による製品化を経て、清泉寮有機 JAS ジャージー牛乳として主に首都圏及び消費者団体に販売。高品質・安心・安全のジャージー牛乳として高く評価されています。

(2) 草地管理面積約 72ha(採草地 45ha、放牧地 25ha その他 2ha)で飼料用牧草を栽培し、乾草、サイレージ用としました。飼料の安心安全・衛生面を改善し、有機 JAS 認定牛乳の生産維持に努力しました。

#### (3) 飼育頭数及び乳量

| 飼育頭数   | 2016 年度   | 2015 年度   | 増減       |
|--------|-----------|-----------|----------|
| 成牛     | 52        | 46        | 6        |
| 育成牛    | 45        | 41        | 4        |
| 哺乳牛    | 13        | 4         | 9        |
| 合計     | 110       | 91        | 19       |
| 内 搾乳頭数 | 45        | 38        | 7        |
| 総生産乳量  | 157,424kg | 156,324kg | 1,100 kg |

### 2. 教育農場として

#### (1) 実習生受け入れ

後継者育成のため、日本大学(18名)、有機農業推進協会(2名)及び酪農ヘルパー協会(4名)の学生による牧場実習体験を受け入れました。

#### (2) 農業体験

教育農場としての役割を果たすべく、学校団体向け酪農体験、大型連休・夏休み期間のファームショップ前のイベントに加え、新たにジャガイモなどの収穫体験を清泉寮に宿泊したお客様対象に実施しました。

また、冬季対策の一環として自然学校とともに、「冬のヘイライド」を実施し牛乳の PR と共に冬の清里の風景を多くの方に見ていただきました(乗車人数 653 人)。

#### (3) 酪農体験プログラム利用者数 1,443 人

ヨーネ病の影響で酪農体験プログラム実施が大きく減少しました。

### 3. 実験農場として

#### (1) 山梨県等との協力

山梨県の酪農経営安定の為、山梨県畜産課、酪農試験場、西部家畜保健衛生所、山梨県改良協会、家畜共済、乳量検定組合等に乳牛飼育者の立場で協力しました。

#### (2) 酪農振興補助事業

山梨県酪農環境負荷軽減支援事業推進協議会に参加し、酪農環境負荷軽減支援事業を実施しました。

#### (3) 家畜伝染病検査(ヨーネ病検査)

2015年7月に発生した家畜伝染病(ヨーネ病)にともない、検査及び消毒を4カ月おきに行っています。また、防疫対策として、牛舎内の日々の消毒等を行っています。

酪農体験に関しては、山梨県西部家畜保健衛生所の指導のもと、2016年度7月よりすべてのプログラムが再開しました。

## 公益Ⅲ. 研修交流事業

### 1. 清泉寮

公益財団法人キープ協会の中核施設としての使命と役割を果たすとともに、事業の継続・発展のためにも財政健全化に寄与する運営を目指しました。

- (1) 研修利用に際して求められる設備・食事・プログラム・スタッフなど、受け入れ体制を整え、積極的なマーケティング活動を行うことにより、学校、企業を始め、より多くの研修団体の獲得および継続利用を兄弟施設である自然学校と共同で図り、両施設において、学校団体の新規獲得などに繋がりました。
- (2) 地域生産者との連携を深めた上で、できる限り地元食材の利用を図るとともに、既存の加工品をできる限り使用しない手作り料理の提供を推進したことにより、地産地消や食の安全といった観点からも顧客の大きな支持をいただくことができました。
- (3) 行政機関の協力や指導を仰ぎ、今後の事業継続に向けた施設の修繕計画を進めました。特に、11月から3月の間に行った本館部分の大規模な改修を無事に終えたことにより、耐震・耐火上より安全な施設を実現し、同時に行った内装や備品の更新によって、より幅広い顧客層の利用に堪えられるようになりました。また、次年度に向けての館内全面禁煙化の方向性を打ち出しました。

(団体利用実績)

|          | 2016年度   | 2015年度   | 増減/前年対比 |
|----------|----------|----------|---------|
| 宿泊団体数    | 165件     | 184件     | ▲19件    |
| 宿泊団体利用者数 | 14,107人泊 | 14,529人泊 | ▲422人泊  |

### 2. 自然学校

体験を重視しグループ利用に特化した清泉寮の兄弟施設として、財政健全化を図りつつ、実験的な取り組みを継続してきました。

- (1) 通年営業の自然学校、夏季(7月～9月)営業のキャンプ場と、2つの施設を管轄し、団体の受け入れを積極的に行いました。体験・食事などに関しても、効率的な運営体制を図りました。
- (2) バリアフリーの構造、地元農家と連携した、安心・安全で健康的な食事の提供、低廉な価格設定といった特長を生かし、アレルギー対応や体験内容も幼保・学校・福祉・研修といった団体の要望を出来る限り受け入れる事に力を入れ、団体営業と共に稼働の向上を図りました。
- (3) 「森のようちえん」「やまもりキャンプ」といった看板企画を始め、食や自然をテーマにした主催キャンプの実施を積極的に行うとともに、受託から派生したグループ・団体と協働した「森整備」や「味噌作り」など、特に親子キャンプを広く展望した上での新しいジャンルのプログラム開発を進めました。

(団体利用実績)

|          | 2016 年度    | 2015 年度    | 増減/前年対比    |
|----------|------------|------------|------------|
| 宿泊団体数    | 206 件      | 215 件      | ▲9         |
| 自然学校     | 179 件      | 154 件      | 25         |
| キャンプ場    | 27 件       | 61 件       | ▲34        |
| 宿泊団体利用者数 | 14, 225 人泊 | 15, 544 人泊 | ▲1, 319 人泊 |

(主催企画実績)

|       | 2016 年度   | 2015 年度   | 増減/前年対比   |
|-------|-----------|-----------|-----------|
| 主催企画数 | 8 企画/36 回 | 8 企画/38 回 | 0 企画/▲2 回 |
| 参加者数  | 2, 430 人泊 | 2, 149 人泊 | 281 人泊    |

### 3. ポール・ラッシュ記念館

公益財団法人キープ協会の根幹であるポール・ラッシュの業績を広く紹介する仕組みづくりを進めると共に、財団の広報・教育機能の一端も担い活動しました。

(1) ポール・ラッシュ精神の継承と伝道および、業績や歴史を紹介する通常の開館業務のほか、ラッシュに関する資料のデジタルアーカイブ化作業の継続を発展的に進め、収蔵資料や美術品の保存・管理業務を行いました。同時に、国内外でのラッシュ関連の資史料の搜索、発見、収集に努めました。これらの活動は、次年度以降も継続します。

(2) 展示・イベントを積極的に行いました。

①4 月から 11 月まで清里を描くことをライフワークにしている水彩画家を取り上げた企画展

②12 月から 3 月末までは地域に関連するアーティストのイラスト展を企画展として行いました。

③アメリカンフットボールの殿堂顕彰者 11 名の追加顕彰記念式典の実施

④2017 年のラッシュ生誕 120 周年に予定している記念館独自の企画展および立教学院との共催企画展、生誕 120 周年記念コンサートの準備

(3) 博物館施設として、県・市や対外的な機関との連携や、メディアや SNS を駆使した広報活動を積極的に展開しました。

(4) 教育普及プログラムの開発と実施を計画し積極的に催行しました。

①「聖書カフェ」(月一度開催の聖書読書会)

②「ロザリオつくりワークショップ」(毎日開催)

③「古写真を用いたフットパス」(季節開催)

④「ミュージアムツアー」(学校・企業団体様向け)

⑤「水彩画ワークショップ」(企画展と連動)

⑥「アウトリーチ活動」(県内の学校・清里で研修をする学校団体への講義、県立近代人物館への出張講義、1 月 3 日に東京ドームで開催された「ライスボウル」へ出張パネル

展示)

(5) インターン生の受入

① Berea 大学(アメリカ ケンタッキー州)から 1 名。6 月から 8 月まで。日常業務の他、展示指導や日本語教材の補助指導を行いました。

② フィリピン聖公会北フィリピン教区(フィリピン)から 2 名。9 月から 10 月。国際事業部と連携。日常業務を行いました。

(開館日数・入館者数等の実績)

|           | 2016 年度 | 2015 年度 | 増減/昨年比       |
|-----------|---------|---------|--------------|
| 年間開館日数    | 300 日   | 300 日   | 0 日          |
| 入館者数      | 8,518 人 | 9,211 人 | ▲693 人/92.4% |
| 1 日平均入館者数 | 28.3 人  | 30.7 人  | ▲2.4 人/92.1% |
| 団体数       | 43 件    | 45 件    | ▲2 件/95.5%   |
| 団体入館者数    | 2,069 人 | 2,137 人 | ▲68 人/96.8%  |

## 公益Ⅳ－① 国際交流事業

### 1. 国際交流事業

(1) 北杜市・米国ケンタッキー州マディソン郡姉妹地域交流事業の実施協力

北杜市マディソン郡姉妹地域間交流事業について下記の事業を実施しました。

①北杜市代表団訪米事業

5月16日～5月25日 10日間 15名(団員12名・事務局3名)

②マディソン郡中学生ホームステイ受入事業

7月30日～8月7日 8日間 10名(マディソン郡中学2-3年生8名・引率教諭2名)

③マディソン郡代表団受入事業

10月11日～10月18日 8日間 18名(代表団13名・文化交流員1名・クラフト4名)

④文化交流

(北杜市交流員派遣)5月21日～5月28日 8日間、派遣交流員1名

(マディソン郡交流員受入)10月19日～10月24日 6日間、受入交流員1名

⑤子ども絵画交流

日米小学4-6年生対象、日米各20作品選出、テーマ「昔話」

巡回展示 2016年5月～10月(マディソン郡内)・12月～2017年1月(北杜市内)

(2) 北杜市・カナダ クロウズネストパス中学生海外交流事業の実施協力

北杜市教育委員会の委託を受け、下記の事業を行いました(2012年度から継続)。

派遣地 カナダ・アルバータ州クロウズネストパス

8月5日～8月12日 8日間 参加18名(中学生14名・引率4名)

(3) 国内外インターン生の受け入れ

日本、アメリカ、フランス、フィリピンから計12名のインターン生・ボランティアを受け入れ、キープ内外での国際理解・交流の場を創出すると共に、ポール・ラッシュ博士の精神・働きの次世代への普及を図りました。

①ベリア大学(アメリカ ケンタッキー州)1名、6月15日～8月15日

②ウェルズリー大学(アメリカ マサチューセッツ州)1名、6月15日～8月15日

③リール大(フランス)2名、7月3日～8月26日

④フィリピン聖公会北フィリピン教区(フィリピン)2名、8月4日～10月20日

⑤コーディネエラ・グリーン・ネットワーク(フィリピン)2名、8月19日～10月20日

⑥長野大学(長野県)1名、8月17日～8月31日

⑦流通経済大学(千葉県)1名、8月24日～9月7日

⑧山梨県立大学(山梨県)2名、8月24日～8月27日、8月31日～9月3日

(4) キープ・アメリカ後援会(ACK)との協働事業：青年平和交流事業「絆プロジェクト」実施  
協力

イスラエル・パレスチナ・日本の3地域の青年を受け入れ、清泉寮での宿泊・食事、ポール・ラッシュ博士の精神や環境教育事業、保育事業を学ぶプログラムを提供しました(2008年から継続)。

日程：8月9日～8月11日

人数：22名(当該3地域の青年各4名および引率者、スタッフ)

主催：ピース・フィールド・ジャパン(NGO、東京)

協力：キープ・アメリカ後援会が協会滞在分の費用を助成

(5) フィリピン農山村援助交流事業

① 北フィリピン教区の青年育成事業への協力

教区の青年リーダーをインターンとして招聘しました。また現地青年育成事業への支援を行いました。

② コーディレラ・グリーン・ネットワーク(フィリピン)の森林保全事業への協力

現地環境教育スタッフ2名をインターン生として招聘しました。また、これまで支援してきた現地森林保全事業で育成・収穫された有機栽培コーヒーを買い取り、協会内で消費・販売しました。

## 公益Ⅳ－② 地域連携事業

### 1. ポール・ラッシュ祭～八ヶ岳カンティフェア～2016の開催

(1) 収穫に感謝する季節に、ポール・ラッシュ精神の顕彰と草の根国際交流の実践を広くアピールし、八ヶ岳に暮らす人々と八ヶ岳を愛する人々の結びつきを強めるため、北杜市をはじめ地域団体との協力のもと、10月15日(土)・16日(日)にポール・ラッシュ祭～八ヶ岳カンティフェア～2016を開催しました。

### 2. 地域連携業務

(1) 八ヶ岳観光圏事業や清里観光振興会等、地域の観光団体と組織連携をし、歴史・文化・観光などの側面から地域連携業務に取り組みました。

(2) そのほか、地域の公立学校や私立大学への支援体制作り、地域活性化のために必要な働きに取り組みました。

(3) 効率的な業務遂行のため、それぞれの事業部と連携・協力しながら柔軟に業務にあたりました。



## 公益Ⅴ. 保育事業

キリスト教の精神に基づき「一人ひとりを祝福する保育」を保育目標に掲げ、また「森のほいくえん」のコンセプトのもと、地域の資源である豊かな自然環境を積極的に活かした保育活動を重点的に行いました。また、キープ協会の公益事業の中でも、地域社会とのつながりを深めるキーステーションとして、地域との交流事業にも積極的に取り組みました。

### 1. 「異年齢児保育」と「森の保育」の継続

「異年齢児保育」については、3・4・5歳児を二つのグループに分け、模倣や助け合いを目的に育ち合える場作りとして行いました。0・1・2歳児も年齢別では無く、たくさん歩けるグループとよちよちグループとに分けての活動を行いました。「森の保育」は一年中を通して（雨の日や雪の日も）森に出掛け、季節の恵みを感じながらその時々に合わせての活動を行いました。

### 2. 自然のリズムを大切にされた食事（給食）の推進

自然のリズムに配慮した生産者への理解や旬の食材利用を心掛け、地域の生産者からの食材を購入しました。また、アレルギー対応も一人ひとりの症状に合わせて行いました。

### 3. 保育の質の向上

「キリスト教保育」は週に一度は教会での礼拝を行い、職員が礼拝での聖話を子どもたちにするために、司祭との勉強の時間を持ち、祈る事の大切さを学びました。「森の保育」

「野外におけるリスクマネジメント」は園内研修として、フィールドでの研修を含め、5回の研修を行いました。

### 4. 園舎内及び周辺環境整備

職員や保護者、また地域の方々と環境整備の日を設け、定期的に環境整備を行いました。また、専門家に作業を依頼し、「森庭」の整備に取り組みました。

### 5. 保護者や地域の方々との協働

保護者の協力のもと、「森の楽童」は年に6回行い、「水曜文庫」（「文庫活動」）は月に2回行いました。

### 6. 卒園児のバックアップ

「卒園児キャンプ」は年7回行い、その都度卒園児が保育園で交流を深めました。

### 7. 自然学校及び環境教育事業部との協働

「森の楽童」の実施については自然学校のレンジャーと協働して取り組みました。自然学校とは、フィールドを共用しましたが、フィールドの整備については今後の課題とします。

### 8. 視察・研修の受け入れ

年間で29団体・約610人の視察・見学を受け入れました。

## 収益 I . 製販事業

キープ協会の経済的基盤を支えるため収益の確保に取り組みました。  
また、MBF (Most Beautiful Farm) プロジェクトに基づいた環境維持に努めました。

### 1. 収支動向

(金額：千円)

| 収入部門    | 2016 年度 | 2015 年度 | 前年比    |
|---------|---------|---------|--------|
| 売店      | 297,287 | 294,671 | 100.9% |
| ソフトクリーム | 166,735 | 176,805 | 94.3%  |
| 飲食      | 64,901  | 64,596  | 105.5% |
| 合計      | 528,923 | 536,072 | 98.7%  |

収入に関しては、繁忙期の天候不順による入込み減少や出張販売件数の減少などが影響しましたが、キープ内各店舗は概ね予算どおりの売上を確保し、最終的には前年比 98.7%(予算比 95.6%)でした。

支出に関しては、原価管理および経費の管理強化により、前年比 98.7%(予算比 92.8%)に抑えました。

### 2. 通常業務

継続的に実施した通常業務は以下の通りです。

- (1) 清泉寮ギフトショップ・清泉寮ジャージーハット・清泉寮パン工房・キープファームショップ(2017 年度より清泉寮ファームショップに名称変更)・清泉寮セレクトショップ、清泉寮新館売店、および清泉寮ソフトクリーム ラザウオーク店の計 7 店舗を運営
- (2) ジャージー牛乳から 生クリーム・バター・ヨーグルトを自家製造
- (3) 無添加ソーセージを自家製造
- (4) 天然酵母によるこだわりのパンを自家製造
- (5) 地元産および県内産の果実を使ったジャムを自家製造
- (6) ジャージー牛乳の消費促進および高付加価値化を図った商品展開およびメニュー展開
- (7) 付加価値を高めたオリジナル雑貨商品の製作
- (8) 各店舗コンセプトの明確化による複数店舗利用促進
- (9) 各種インフォメーションの充実による複数店舗利用促進

- (10) 各種媒体およびメディアを活用した広報宣伝
- (11) 飲食部門に於いては「人と地球の健康」をキーワードとした食の安全と環境への配慮を強く意識したメニューを展開
- (12) キープ農場産の牛肉を使用したメニューを展開
- (13) 自家製乳製品を多用したメニューを展開
- (14) 物産展および催事等への出張販売(別表参照)
- (15) ギフト需要に対応した自社通販および百貨店等の産直販売
- (16) ACK と連携した海外製品の直輸入
- (17) 顧客満足度を高める接客・サービスの向上
- (18) 子供向け設備・サービスの充実(キープファームショップに遊具新設)
- (19) 景観に配慮した各店舗周辺的环境整備
- (20) ガーデン管理および環境美化による癒しの空間を提供
- (21) 各店舗間の横断的なシフトによる効率化で人件費を削減
- (22) 収入に応じた支出管理の徹底
- (23) POS システムと購買の一元化による徹底した仕入・在庫管理

### 3. 出張販売

| 場所            | 事業名                   | 期日          |
|---------------|-----------------------|-------------|
| 稲城 くろがねや稲城押立店 | 出張販売                  | 6/4～6/26    |
| 長坂 スポーツ公園     | 北杜ふるさとまつり             | 8/7         |
| 名古屋 丸栄百貨店     | 山梨の物産と観光展             | 9/1～9/6     |
| 川崎 日本食肉流通センター | ちくさんフードフェア            | 10/8～10/9   |
| 青森 さくら野百貨店    | ズームイン!! サタデー 全国うまいもの博 | 10/8～10/16  |
| 新潟 新潟伊勢丹      | ズームイン!! サタデー 全国うまいもの博 | 10/26～11/1  |
| 羽村 富士見公園      | 羽村市産業祭                | 11/5～11/6   |
| 稲城 くろがねや稲城押立店 | 出張販売                  | 11/12～12/11 |
| 新宿 京王百貨店      | 元祖有名駅弁と全国うまいもの大会      | 1/12～1/24   |

| 出張販売件数  | ソフトクリーム売上       | 物販売上          | 合計(税別)          |
|---------|-----------------|---------------|-----------------|
| 9 件     | 16,058 千円       | 1,456 千円      | 17,514 千円       |
| 前年 12 件 | 20,807 千円       | 1,861 千円      | 22,668 千円       |
| 前年比     | ▲4,749 千円/77.2% | ▲405 千円/78.2% | ▲5,154 千円/77.3% |

## 収益Ⅱ. ホテル事業

### 1. 清泉寮

研修宿泊施設としての役割を果たすと共に、一般のお客様の宿泊や食事、パーティーやブライダルなどの受け入れについても積極的に行いました。

- (1) 宿泊予約 AGT との提携により、客室稼働に応じた多様なプラン設定を行い、宿泊売上増加を図りました。
- (2) レノックス礼拝堂や黙想館といった清泉寮の特徴を生かした施設を活用することでブライダルの獲得を推進し、同時に衣装や着付、装花など関連分野のコーディネートも行ったことにより、売上の増加を図りました。
- (3) 清泉寮利用者の拡大や、インターネットや SNS を活かした効果的な情報発信を継続することで、清泉寮はもとより、財団の他施設や商品・サービスの利用促進や財団の理念の周知による支援者の獲得に繋げました。

## 本部(管理部門)

### 1. 企画関連業務

(1)KEEP for the Future (5カ年中長期計画)事務局として管理業務を実施

(2)組織及び運営の改善、合理化の研究・提言

団体営業検討ミーティングの開催

団体客の集客および各事業部での情報共有に向けて、関連部署の担当者が委員となり営業対策を検討するミーティングを強化しました。

- ・2016年度・・・9回開催

- ・飲食情報を集約した「グルメマップ」を発行

- ・団体予約管理台帳を作成・管理して、団体予約状況を把握。予約団体に対して他事業部から営業強化の仕組確立。

(3)内外一般情勢のマーケティング

繁忙期の立寄り利用の動向、団体プログラム利用状況の取り纏め、食品バイヤー等を対象として牛乳販促に向けた調査を行いました。

(4)新規事業・特命事項に関する調査・運営計画の策定

牛乳販路拡大による営業活動

各種商談会に出展する等で有機ジャージー牛乳の販路拡大に向けた営業活動を行いました。

- ・4月7日～20日

京王百貨店新宿店「春の大食品祭」京懐石美濃吉による限定販売した惣菜等で使用。

- ・7月21日

展示商談会：やまなし食のマッチングフェア(山梨中央銀行主催)出展

- ・10月5日～19日

京王百貨店新宿店「山梨・静岡うまいもの特集」で洋菓子製造「コロンバン」で販売した「清里ジャージー牛乳プレミアムプリン」で使用。

- ・11月8日～9日

展示商談会：地方銀行フードセレクション2016出展

- ・2月15日～17日

展示商談会：スーパーマーケットトレードショー出展

## 2. 広報関連業務

- (1) 雑誌掲載、TV 番組、商材撮影などの円滑な対応と、よりよい PR につながる発展的提案を行いました。

対応実績

| カテゴリ                    | 件数 |
|-------------------------|----|
| 大手観光情報誌(るるぶ、まっぷるなど)     | 28 |
| その他情報誌(ローカル誌、フリーペーパーなど) | 16 |
| 情報 WEB サイト、アプリなど        | 7  |
| 新聞(一般、県内紙など)            | 15 |
| TV 番組(在京キー局)            | 12 |
| TV 番組(ローカル)             | 7  |
| BS・CS、ケーブル TV 番組        | 3  |
| ラジオ番組                   | 3  |
| 商材撮影(カタログ、ミュージックビデオなど)  | 3  |
| 広告出稿                    | 6  |

- (2) WEB サイトの管理と定期的な更新を行いました。  
 (3) 季節の情報と営業施設の案内パンフレット「清泉寮まるごとマップ」などの印刷物の継続的な改善と発行を行いました。  
 (4) インバウンド向け「清泉寮まるごとマップ 中国語版」と「清泉寮まるごとマップ 英語版」を作成して、外部にも発信しました。

## 3. 職員教育訓練業務

- (1) ES(従業員満足)・CS(顧客満足)を高めるための教育訓練の実施

外部研修

接客等専門知識の吸収、教養と識見の向上を図りました。

| 研修日   | 研修タイトル      | 出席人数 | 研修主催          |
|-------|-------------|------|---------------|
| 4月7日  | 中堅社員        | 3名   | 山梨ちゅうぎん経営者クラブ |
| 4月14日 | ビジネスマナー     | 2名   | 山梨ちゅうぎん経営者クラブ |
| 4月20日 | マーケティングの基礎  | 4名   | 山梨ちゅうぎん経営者クラブ |
| 5月12日 | 決算書の読み方     | 2名   | 山梨ちゅうぎん経営者クラブ |
| 7月20日 | 営業力強化       | 1名   | 山梨ちゅうぎん経営者クラブ |
| 3月9日  | クレーム対応の技と心得 | 2名   | 山梨ちゅうぎん経営者クラブ |

- (2) キープ協会の設立運営理念や歴史的経緯の理解のための研修の実施

新入職員・若手職員対象研修

キープ協会の歴史的背景の習得、体験を通して理解を深める内容で実施しました。

3月31日～2日間 16名

#### 4. 募金の管理業務

##### (1) 募金委員会の事務局業務

募金計画について今後の方向性について検討

##### (2) Friends of KEEP 会員組織活動

###### ① 会員獲得活動

a. キープ協会維持会員(個人)・・・282名(前年対比+9名)

b. 法人会員・・・16社(前年対比±0社)

c. 清泉寮クラブ会員・・・425名(前年対比+48名)

###### ② 会報清泉寮通信の作成と発信

a. 清泉寮通信と年度収支報告書(会員のみ)を4月に配信しました。

b. 2015年度キープ協会維持会員の芳名パネルを作成して、清泉寮本館案内所前に掲出しました。

###### ③ メールマガジンの作成と発信

清泉寮宿泊情報のメールマガジン配信にあわせて、会員宛にも清泉寮割引宿泊プランや清泉寮本館改修工事等の情報をご案内しました。

##### (3) 顧客名簿の管理等に関する業務

Friends of KEEPの会員向けに清泉寮通信を送付するのに合わせて各事業部で管理している顧客等を名寄せした個人情報を利用し約3,000名に対して清泉寮通信を郵送しました。